



タスクフォース結成から 10 年を記念して

私たちのスポンサーであります、高崎和田ライオンズクラブの皆様には平素より、ご指導を頂き大変感謝申し上げます。

本日は、防災の日を記念して行なわれます卓話にお招き頂き大変ありがとうございますでした。

防災と言いますと、約 10 年前、国際協会が定めた『ライオンズ人道主義タスクフォース 災害援助の手引き』に基き、日本で初めての取り組みとして単一クラブとしては国内初となる、高崎和田ライオンズクラブのタスクフォースが、『ライオン誌日本語版 1998 年 3 月号』に取り上げられ大きな反響を呼んだことで知られています。

この取り組みは、現在も継続され、約 10 年の節目となり、この度は、高崎和田ライオンズクラブの岡田茂美会長のご配慮で、防災の日の記念卓話となった事は大変意義深く感じております。

1997 年 11 月に結成されたタスクフォースでの非常通信に関する取り組みは、高崎和田レオクラブから高崎キャッスルレオクラブへと引き継がれ、2001 年 8 月には、当時の 333 - A 地区の板垣金三ガバナー立会いのもと、地域のガールスカウト、高崎和田レオクラブ、高崎キャッスルレオクラブ、高崎ニューセンチュリーライオンズクラブ、そして、高崎和田ライオンズクラブとの 5 者共同宣言による協定書も取り交わし活動を広げております。

この間、レオクラブの無線免許の取得講習会や、救急救護の訓練、さらに、青少年を中心とする防災訓練への協力、毎月のロールコールやライオンネットを通じ、防災に備える活動を継続しております。

これらは、一重に、スポンサーであります、高崎和田ライオンズクラブの皆様のお陰と感謝申し上げます。

この場をおかりいたしまして、一言ごあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。



高崎ニューセンチュリーライオンズクラブ

会長 L.大泉 早智子